

ISSN 1348-2912

弘前大学教育学部  
附属教育実践総合センター

# 研究員紀要

第5号 (通号第15号)

平成19年3月

弘前大学教育学部  
附属教育実践総合センター

# 目 次

## 研究員研究論文

「思考力」を高める説明的文章指導の一考察 — 「PISA型読解力」育成の視点から「筆者想定法」を再評価する — ……	田 中 拓 郎 (1)
小学校における地域文集の研究 — 弘前市国語教育研究会編「ひろさき」の児童詩を中心に — ……	小山内 早 苗 (11)
学習意欲を高める学習形態の開発 — ジグソー学習と社会科学習 — ……	天 内 純 一 (21)
英語科における小・中連携を図るための課題と方策 — 青森市浪岡地区における英語学習調査から — ……	阿 部 笑 子 (31)
中学生の語彙指導に関する実証的研究 — コーパスを活用して — ……	佐 藤 剛 (43)
タスク活動を通して teacher talk の改善を図る事例研究 ……	丹 藤 永 也 (53)
校内研修の取り組みが児童・教師に及ぼす影響について ……	工 藤 泰 子 (63) 工 藤 郁 子
教員の自己評価についての研究 ……	渋 川 良 夫 (75)
乳幼児保育施設の保育実践に関する研究Ⅱ — 東北地方の実践を通して — ……	原 子 純 (83)

## 附属学校教職10年経験者研修課題研修報告書

文学作品を活用した自己表現力を高める授業づくり — 「語り」の活動を通して — ……	地 主 尚 子 (93)
We bにおける開かれた小学校社会科地域読本の一試案 — 概念探究学習をベースにした地域読本を例に — ……	秋 田 真 (97)
「知的な気付き」を大切にした生活科の指導の在り方 — マップ図の活用を通して — ……	千 葉 修 (101)

集団や社会とよりよく関わろうとする子どもの育成

- V L F :Voices of Love and Freedom (思いやり育成プログラム) を  
活用した単元的道徳学習の工夫 — ..... 建 部 拓 (105)

思考力・判断力を育成する「補充的・発展的学習」の一考察

- 概念探究学習過程と価値分析学習過程を踏まえた中学校社会科の  
単元構成 — ..... 佐 藤 耕 人 (109)

社会科3学年公民的分野 国際問題に関する生徒の意識について

- 生徒の小論文を通して — ..... 竹 内 誠 司 (115)

読み取る力を高める指導法の研究

- 新曲視唱の活動を通して — ..... 工 藤 素 子 (119)

学びを生活に生かす生徒の育成

- 技術・家庭科の授業実践を通して — ..... 柴 田 郁 子 (123)

- 自閉性障害児Aの認知特性をふまえた学習指導方法に関する研究 ..... 外 崎 毅 (127)

一般論文

- 適応指導が通所生の発達課題の達成感に与えた影響について ..... 渡 邊 潔 (131)

解 説

- 研究タイプによる質問紙調査の質問項目作成について ..... 田名場 忍 (143)

講演記録

現場において研究を続けるということ

- 個人的な経験から — ..... 児 玉 忠 (149)

## 弘前大学教育学部附属教育実践総合センター研究員紀要執筆規程

1. 論文の記述は重複を避けて簡潔かつ明瞭にし、横書きを原則とする。
2. 原稿はワードプロセッサを用いて A4 版の用紙に印字し、使用したハードウェアとソフトウェアを明記したフロッピーデスクとともに提出する。
3. 原稿の第 1 ページには論文内容を適切に表す表題と、著者名及び所属を明記すること。
4. 1 行を全角文字で 40 字とし 1 ページ 46 行相当一段組みとする。余白は天 30mm、地 25mm、左 25mm、右 25mm とする。
5. 本文の前には 400 字程度の要旨と 5 個程度のキーワードを置く。
6. 文字種は、論文表題（14 ポイント）と見出し等（12 ポイント）はゴシック、それ以外は明朝（11 ポイント）とする。表題に副題をつける場合は 12 ポイントのゴシックとする。
7. 論文題名と著者、所属は中央揃えとし、それ以外は左揃えとする。著者、所属は先頭文字の位置を揃える。
8. 図表（写真、楽譜などを含む）はなるべく少数にとどめ、大きくても 1 ページに収まる程度ととする。図表のキャプションはゴシックで 11 ポイントとする。図表には出現する順番に、図 1、表 1 のように番号を付すこと。
9. 図表は原則として論文中の適切な場所に適切な大きさと組みこんでおく。
10. 脚注は出現したページのフッターにおき、明朝で 10 ポイントとする。
11. 文献の引用は原則として本文中の該当個所の右肩に括弧付きの番号で表示し、出典は本文末尾に一括して番号順に記載する。雑誌の場合は著者名、論文等の題名、掲載雑誌名、巻・号、ページ、発行年を、また単行本の場合は著者名、書名、出版社名、ページ、発行年を記載することを原則とする。

この規定は平成 14 年 4 月から適用する。

## 総合的な学習の時間に関する研究

ーこの見本にあわせて作成してくださいー

弘前太郎 弘前市立津軽小学校

### 要旨

新しい学習指導要領が小・中学校において平成 14 年度から全面実施される。これまで 2 年間にわたり単元の開発に努めてきた。子どもに問題意識をもたせるために意図的に学校の外に連れ出し・・・。

【キーワード】 インターネット 交流学習 異年齢 意志決定 問題解決

### 1. はじめに

取り組むべき研究の課題と目的を書く。目的、問題と目的としてもよい。

総合的学習の時間\*のねらいの 1 つとして問題の把握と問題解決能力の育成がある。本研究では、インターネットを通して他校の児童と交流することを通じて・・・。

## 2. インターネットによる交流学习とその方法

内容を的確に表す見出しをおいて本文内容を論旨にしたがって項目別に配列する。実験（調査）方法、結果と考察、まとめをおくこともできる。

### 2-1 授業実践

必要がある場合小見出しをおく。  
実際の授業は図 1 に示す学習指導案に従い・・・。

## 3. 作成されたホームページによる学習効果

### 文献

- 1) 天内純一（2001）；問題解決能力を育てる総合的学習，弘前大学教育学部附属教育実践総合センター研究員研究報告書，10号，pp.85～98.
- 2)

---

\* 平成 14 年度から小学校、中学校とも全面実施となった。

弘前大学教育学部附属教育実践総合センター  
研究員紀要 第5号 (通号第15号)

発行年月日 平成19年3月31日

編集・発行 弘前大学教育学部附属教育実践総合センター  
代表者 伊藤成治

所在地 〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地

電話 0172-39-3487 (センター事務室)

FAX 0172-39-3488 (センター専用)

印刷所 やまと印刷株式会社